



学校創立 146 周年

百年松

阿木名小中学校だより8月号 令和7年8月21日発行

◇ 校訓「かしこく やさしく たくましく」

あ 明るく元気なあいさつができる子ども
ぎ ぎりぎりまであきらめず努力する子ども
な 仲よく笑顔いっぱいの子ども
うれしい たのしい ありがとう～Keep Smilin'～



阿木名小中学校



八月や 六百九百十五百

校長 阿部 康夫

「♪夏に咲く花、きょうちくとう 戦争終えたその日から 広島野にもえている～♪」

8月になると私が必ず思い出す歌です。私が小学1年生の頃、8月の出校日に担任の先生が教室で歌ってくれた「夾竹桃のうた」です。小学1年生の頃の記憶です。歌詞やメロディーはうろ覚えでちょっと違っているようですが、50年以上経った今も覚えています。原爆で焼け野原となった広島で、最初に花を咲かせたのは夾竹桃(きょうちくとう)だそうです。先生から夾竹桃の花は原爆で打ちひしがれた人々の希望の象徴となったという話を聞き、二度と戦争を繰り返してはならないと思ったことを覚えています。

今年の9日の長崎の平和祈念式典では、爆心地に近い城山小と山里小が2校合同で、歌手の福山雅治さんが作った「クスノキ」を平和を願い合唱しました。知っている方も多いと思いますが、この楽曲は爆心地から800mの山王神社にあるクスノキのこゝです。この神社は社殿が跡形がないほど焼失し、鳥居も爆風で片足が破壊され、2本のクスノキも幹の中心部以外は幹が折れ黒焦げ状態になりました。しかし、被爆から2か月後に新しい芽が出てきて、広島の夾竹桃と同じように復興のシンボルとなったそうです。被爆2世の福山さんは子どもの頃、何度もこのクスノキを訪れ、何かを感じ、被爆したクスノキの視点で「生命の尊さ、たくましさ」や「全ての生命が等しく生きられる世界への願い」を込め、この楽曲を発表したそうです。構想から24年もかけて作られた曲なので、その歌詞には熱い思いがあります。今の子どもたちも、50年前、私が「夾竹桃のうた」を聞いた時のように何かを感じてくれることと願ってやみません。



我が魂は奪われはしない この身折られど この身焼かれども
涼風も爆風も 五月雨も黒い雨も ただ浴びて ただ受けて
ただ空を目指し 我が魂は この土に根差し 葉音で歌う 生命の叫びを
「クスノキ」の歌詞の一部より



実は私も修学旅行の引率で何度かこのクスノキに会っています。クスノキの近くに立つと崇高な気持ちを感じ、80年前にこの地で起きた悲劇を二度と繰り返してはならないという思いを新たにします。鹿児島県の中学校の多くは長崎に修学旅行に行きます。そして、原爆の惨禍を学び、平和のありがたさを学び、グループで長崎の町を自主研修で回ります。長崎の町には、子どもたちに訪れてほしい場所がたくさんありますが、ぜひ、このクスノキには会いに行きたいと思っています。

掲題の俳句は詠み人知らずと言われていますが、日本の8月には静寂や無念、鎮魂がにじみます。戦後80年、平和があたりまえですが、このあたりまえの生活がずっと続くよう、これらの歌とともに「平和を再確認する8月」に毎年してほしいと願っています。

長崎の被爆者の方は必ずこう言われます。「どんなにつらかことがあっても、絶対死んだらいかん！命ば大切にせんばいかんよ！」と・・・9月に元気で再会しましょう！

本校の公式Instagramを開設しました！

今後はInstagramで、最新情報を発信します ⇒ 右のQRコードを読み取ってください
アカウントポリシーは本校ホームページ (<http://www.s500.jp/agina/>) に掲載しています



【夏の熱い戦い】

7月25日赤木名中相撲道場で行われた県中学校総合体育大会相撲競技で、中学3年の平瀬海維さん(瀬戸内クラブ所属)が個人戦では3位、団体戦では見事優勝を果たしました。県内の強豪が集まる中、団体戦ではチームの中堅として優勝に貢献、個人戦では最終戦で勝利し全国大会出場を決めました。8月6日に宮崎市で行われた九州大会では、団体戦は予選を突破し、決勝トーナメントベスト8まで勝ち進みました。個人戦では悔しい思いをしたようですが、8月20日～21日に熊本の宇土市で行われる全国大会ではコンディションを整えて鹿児島県代表として悔いを残すことなく闘ってくれることと思います。地元からの応援を皆さんよろしくお願いします。



【イングリッシュデイキャンプ】

7月31日にきゅら島交流館で町内の小中学生総勢13名が参加し、イングリッシュデイキャンプが行われました。本校からも小学生4名、中学生1名が参加し、英語に親しむ充実した1日を過ごしました。当日は本町の2名のALTも参加し、始めに自己紹介を行った後、英語でフルーツバスケット、英語の動物の鳴き声をあてるゲーム、外国のカードゲーム等を楽しみ、最後に自分の好きなものを英語で紹介する活動を行いました。普段の英語学習や外国語活動で学んだ成果を生かしながら交流を深めました。夏休みを活用して積極的にこのような学習活動に参加することで、他校の皆さんと交流を深め、参加した子どもたちは有意義な経験をする事ができたようです。



【継続は力なり】

夏休みのラジオ体操は、小中学生にとって素晴らしい経験です。毎日のように参加している子どもたちには「賞賛」を送り、休むことが多かった子たちには残りの期間参加できるように応援したいです。朝起きるのはつらいこともありますが、早起きしてラジオ体操をすることで1日の良いスタートを切ることが出来ます。体を動かすことで気持ちもリフレッシュしますし、友達と一緒に参加すれば楽しさも倍増です。2学期は運動会練習も始まります。残りの期間、体を慣らす意味でも、児童生徒の皆さん、参加して朝の涼しい時間帯に体を動かしましょう。



【瀬戸内子どもサミット】

8月6日(水)にきゅら島交流館で瀬戸内子どもサミットが行われ、中3の屋崎圭亮さん、中2の林凜研さん、小6の里山眞優さんが本校の代表として参加しました。「帰りたくない町にするために私たちが考えること」というテーマで①施設設備②自然観光③町の魅力④安心安全環境⑤利便性の5つの観点からグループごとにアイデアを出し合いました。最後はそれぞれのグループでまとめた内容を発表しました。子どもたちの故郷「瀬戸内町」への思いや期待がいっぱい詰まった素晴らしい話し合いが行われました。



【ふなこぎ競争大会】

8月10日(日)にみなと祭りの舟こぎ競争大会(中学生の部)に本校の中学3年生2チームが出場しました。この大会に向けて練習を数回行ってきましたが、当日は練習の成果を十二分に発揮し、Bチームが5チーム中3位で決勝進出しました。決勝ではBチームがAチームの応援を力にして息の合った櫂(かい)さばきをみせ、見事3位入賞を果たしました。中学3年生の生徒と保護者の応援が一体となりチームワークが光る大会となりました。中学生最後の夏休みにまた一つ思い出が刻まれたことでしょう。



< 9月行事 >

- 1日(月)始業式
- 1日(月)～7日(日)いじめ問題を考える週間
- 2日(火)実力テスト: 中3(～3日)
- 4日(木)～6日(土)旧盆
- 8日(月)読み聞かせ
- 15日(月)敬老の日
- 22日(月)運動会予行練習
- 23日(火)秋分の日
- 28日(日)運動会
- 29日(月)振替休日



< PTA 愛校作業 >

8月24日(日)7:00～9:00に愛校作業が行われます。いつも児童生徒が生活している学校を保護者の方々の力を借りて、きれいにしていければと思います。天候判断を午前6時に行い、雨天で活動できない場合は8月31日に延期となります。今年度も愛校作業後に、グラウンドの整備を緑原砕石様と勇建設様にご厚意で実施していただきます。暑い中での作業が予想されます。水分等の持参も忘れないようにお願いします。

